

新入職員49名を迎え、令和4年度入庫式を挙行 ～ 理事長訓示 “「まさか」を乗り越える力” ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、4月1日（金）午前11時から、本店2階ホールで「令和4年度入庫式」を挙行しました。

高橋理事長が新入職員49名に採用辞令を手渡し、次の言葉を贈りました。

■新入職員に贈る言葉

“「まさか」を乗り越える力”

新型コロナウイルスの感染拡大で世界経済は大きく失速し、未だ終息には時間を要する状況にある。

また、ロシアのウクライナ侵攻が現実になるなど、世界では予想だにしない「まさか」が起こっている。

皆さん方はこのように緊張感が高まる中で社会人生活がスタートした。

想定外を回避するすべての対策を準備することは至難であるが、予測できない「まさか」を乗り越える力を持たなければならない。

現下の厳しい時であるからこそ、地域金融を担う一員として、日々の仕事の中に「志」をもち、「まさか」の事態を乗り越えるための「忍耐力」「持続力」「突破力」を養ってほしい。

入庫にあたり、これを皆さんへの贈る言葉とし、社会人生活の第一歩を踏み出していただきたい。

入庫を歓迎するとともに皆さんの躍動感あふれる若い力に大いに期待する。

大阪シティ信用金庫
理事長 高橋 知史



高橋理事長（右）から発令を受ける新入職員



新入職員と記念撮影
(中央左 河村会長、中央右 高橋理事長)

以 上